

第 172 回 福岡産科婦人科学会

プ ロ グ ラ ム

(現地開催＋後日オンデマンド配信)

会 場 北九州国際会議場

〒802-0001 北九州市小倉北区浅野 3 丁目 9 番 30 号

TEL 093 - 541 - 5931

日 時 令和 8 年 1 月 25 日 (日)

9 : 30 ～ 理 事 会 (21 会議室)

10 : 30 ～ 専門医制度委員会ならびに学会雑誌編集委員会 (21 会議室)

11 : 00 ～ 評 議 員 会 (21 会議室)

13 : 00 ～ 総 会 (メインホール)

13 : 10 ～ 専 門 医 共 通 講 習 (メインホール)

14 : 15 ～ 学 術 講 演 会 (メインホール)

17 : 40 終 了

現地＋後日オンデマンド配信形式での学会開催とします。(ライブ配信はありません) 詳細につきましては福岡産科婦人科学会のホームページにおきまして、随時情報を更新いたします。

1. 第 172 回福岡産科婦人科学会のホームページより、**前日までに事前登録**をお願いします。
2. 講演時間は 9 分 (発表 6 分、質疑 3 分)。
3. 発表は事務局で用意した Windows PC で行います。USB メモリーに発表データを入れてお持ちください。予備として発表データが入った PC 本体もお持ちください。
4. 会場に用意する PC のアプリケーションは Windows Microsoft PowerPoint2019 です。
*Macintosh をご使用の方は、必ずパソコンと専用コネクタをお持ち下さい。
*プロジェクターとの接続ケーブルコネクタは、HDMI 又はミニ D-Sub 15 ピンです。
*発表者ツールのご利用はできません。発表資料は事前にプリントアウトの上お持ちください。
5. 評議員の先生には**事前にお申し込みをされた方にお弁当(実費 1,000 円)**をご用意します。
6. 評議員の先生のお食事会場は、北九州国際会議場 21 会議室になります。
7. 今回の専門医共通講習は、現地開催とオンデマンド配信を予定しています。オンデマンド配信を視聴では、講習終了後の設問 (5 択) に正解した場合に、専門医共通講習の医療安全 (必須) 1 単位が付与されます。
8. 学会に関するお問い合わせは担当校 (産業医科大学 担当: 西村) までご連絡下さい。

担 当 産業医科大学 産科婦人科学教室

主 催 筑後ブ ロ ッ ク

専門医機構認定共通講習（専門医共通講習）

13：10～14：10

座長：吉野 潔（産業医科大学）

「チームで進める患者安全～心理的安全性と共同意思決定を軸に～」

深見 達弥（島根大学 医療安全管理部 教授）

※本講習の受講により、「専門医共通講習：医療安全（必修）1単位」が付与されます。

一 般 演 題

14：15～17：30

第1群）14：15～15：05

座長：堀之内 崇 士（久留米大学）

1. 妊娠31週と産褥期に脳室-腹腔シャント不全を繰り返した一例

北九州市立医療センター

○石 田 崇 人・原 枝 美 子
廣 瀬 陽 俊・鐘 江 愛
中 野 幸 太・大 塚 裕一郎
堤 桜 子・瓜 生 泰 恵
井 上 修 作・北 出 尚 子
西 村 淳 一・兼 城 英 輔
尼 田 覚

同 総合周産期母子医療センター

高 島 健

2. 分娩時に脳動脈瘤破裂によるクモ膜下出血を発症した多発性腎嚢胞合併妊娠の1例

JCHO 九州病院

○望 月 晶 子・近 藤 恵 美

得 居 広 葉・田 中 大 貴
永 井 亜佑実・池之上 李都子
魚 住 友 信・西 村 和 泉
河 野 善 明

3. 無痛分娩時の硬膜外麻酔中に Horner 症候群を呈した 1 例

産業医科大学

○衣 川 のはら・田 尻 亮 祐
三尾母 沙 希・渡 部 大 貴
岸 本 叡 人・橋 脇 冴 弥
福 元 裕 貴・松 野 真莉子
飯 尾 一 陽・内 村 貴 之
西 村 和 朗・網 本 頌 子
愛 甲 悠希代・吉 野 潔

4. 5 ヶ月間の勾留後に巨赤芽球性貧血を来した未受診妊婦の一例

九州医療センター

○中 溝 めぐみ・黒 川 裕 介
杉 本 愛 沙・中 尾 智 美
江 崎 高 明・森 下 優 史
森 田 葵・大 薮 友里恵
槁之浦 佳 奈・早 瀬 千 尋
瓦 林 靖 広・藤 原 ありさ
小 川 伸 二

5. 後期分娩後異常出血を契機に診断された後天性血友病 A の一例

福岡大学

○徳 永 奈 穂・石 田 智 大
平 川 豊 文・紙 谷 雛 子
栗 国 結 愛・原 田 麗 嗣
木 村 いぶき・荒 木 陵

諸 井 明 仁・讃 井 絢 子
伊 東 智 宏・井 槌 大 介
漆 山 大 知・四 元 房 典

第 2 群) 15 : 10~15 : 50

座長 : 横 峯 正 人 (久留米大学)

1. 臨床的に卵管間質部妊娠と判断した妊娠 12 週破裂の 1 例

福岡徳洲会病院

○古 賀 瞳・齋 藤 もとみ
江 田 理薫子・福 島 愛
夏 秋 伸 平・峰 松 麻 里
宮 川 孝

2. 合併症のない双胎妊娠における分娩後肝被膜下血腫の一例

九州大学

○是 澤 魁 仁・中 島 奈津実
甲 斐 翔太朗・杉 浦 多佳子
清木場 亮・坂 井 淳 彦
城 戸 咲・加 藤 聖 子

3. 22q11.2 欠失症候群に伴う馬蹄腎の多嚢胞性異形成腎が羊水過少の原因であった一例 : 剖検・遺伝学的検査による診断

小倉医療センター

○牛 島 崇・高 橋 仁 美
新堂 慎太郎・竹 内 一 輝
藤 川 梨 恵・石 橋 弘 樹
北 川 麻里江・森 岡 将 来
牟 田 満・元 島 成 信

同 臨床検査科

徳田 諭道・川越 秀洋
川上 浩介・吉里 俊幸
矢野 雄太

4. 妊娠を契機に診断した卵巣未熟奇形腫の1例

北九州市立医療センター

○鐘江 愛・北出 尚子
廣瀬 陽俊・石田 崇人
中野 幸太・大塚 裕一郎
堤 桜子・瓜生 泰恵
井上 修作・原枝 美子
西村 淳一・兼城 英輔
尼田 覚
同 総合周産期母子医療センター 高島 健

第3群) 15:55~16:45

座長: 田崎 和人 (久留米大学)

1. びまん性平滑筋腫症と腹膜播種性平滑筋腫症を併発した1例

久留米大学

○川西 由莉・吉満 輝行
富田 稜・久田 ちひろ
池澤 佳子・吉村 清隆
落合 彩子・白本 紗矢香
池田 周平・重川 公弥
山川 理子・清家 崇史
田崎 慎吾・葉 高杉
田崎 和人・勝田 隆博

西 尾 真・津 田 尚 武

2. 術前に卵巣腫瘍が疑われた後腹膜発生の孤立性線維性腫瘍の一例

九州大学

○上 平 謙 知・廣 谷 賢一郎

小 寺 千 聡・田 浦 裕三子

結 城 光太郎・濱 田 律 雄

河 村 圭 子・横 田 奈津子

河 村 英 彦・磯 邊 明 子

加 藤 聖 子

3. 当院における再発子宮頸癌に対するチソツマブベドチンの導入経験

福岡大学

○中 尾 優 衣・清 島 千 尋

荒 巻 彩 希・石 田 美 希

永 田 浩士郎・石 田 倖 子

諸 井 明 仁・吉 川 賢 一

宮 田 康 平・四 元 房 典

4. 診断に苦慮した子宮体癌術後リンパ漏の一例

産業医科大学

産婦人科

○渡 部 大 貴・金 城 泰 幸

松 野 真莉子・武 富 瑠 香

遠 山 篤 史・村 上 緑

西 村 和 朗・原 田 大 史

植 田 多恵子・栗 田 智 子

吉 野 潔

同 産業保健学部広域発達看護学

松 浦 祐 介

5. 播種性腹膜平滑筋腫疑いの経過観察中に急性増悪し、子宮肉腫の診断となった一例

JCHO 九州病院

○田 中 大 貴・西 村 和 泉
得 居 広 葉・永 井 亜佑実
池之上 李都子・魚 住 友 信
近 藤 恵 美・河 野 善 明

第 4 群) 16 : 50 ~ 17 : 40

座長 : 三田尾 紘 (久留米大学)

1. 子宮捻転の 1 例

聖マリア病院

○沖 栄 鴻・浦 郷 康 平
江 島 有 香・佐久間 沙 季
青 木 瑠美子・立 野 崇 正
井 上 寧 々・石 黒 元
原 井 絢 音・杉 悠
井 上 麻 実・朴 鐘 明
寺 田 貴 武・下 村 卓 也
堀 大 蔵・杉 山 徹

2. 全腹腔鏡下子宮全摘術後の尿管腔瘻、尿管狭窄に対して経尿道的尿路バルーン拡張術により保存的加療を行った一例

田川市立病院

○武 田 真太郎・野 田 貴美子
椎 名 隆 次・藤 田 拓 司

3. 50 代の全胎状奇胎に対して奇胎除去術後に腹腔鏡下子宮全摘を行った 1 例

福岡赤十字病院

○森 一 馬・和 田 智 子

同 病理診断科

竹 内 優・松 崎 聖 司
久 富 恵理香・古 賀 万里子
鈴 木 りりこ・井 町 佑 三
貴 島 雅 子・濱 崎 洋一郎
藤 田 恭 之・西 田 眞
西 山 憲 一

4. 卵巣腫瘍を3年間放置して持続的血液濾過透析(CHDF)を要した一例

九州医療センター

○森 下 優 史・杉 本 愛 沙
中 尾 智 美・江 崎 高 明
中 溝 めぐみ・森 田 葵
大 薮 友里恵・嶋之浦 佳 奈
黒 川 裕 介・早 瀬 千 尋
瓦 林 靖 広・藤 原 ありさ
小 川 伸 二

5. パート別ドライボックストレーニングによる効率的技術習得の検討

小倉医療センター

○中 並 弥 生・石 橋 弘 樹
高 橋 仁 美・新 堂 慎太郎
仲 碧 子・竹 内 敬 祐
吉 川 秀 昭・光 山 丈 彦
竹 内 一 輝・牛 島 崇
堀 洋 暢・河 村 京 子
川 越 秀 洋・川 上 浩 介
吉 里 俊 幸

【北九州国際会議場へのアクセス】



JR小倉駅から徒歩 9 分



各種会議は21会議室
講演はメインホール